

## 【1/20 静岡県住宅・建築物耐震化推進協議会 質疑回答】

質問① 輪島市の転倒したビルについて、上部建物の解体後に基礎構造の調査が進められ、分析結果が報告された際に、その情報にどのようにアクセスできるか知りたいです。

(回答) 調査結果は、建築研究所もしくは日本建築防災協会の HP に掲載される予定です。

質問② 液状化について、ハザードマップは有効か。転倒した建物は杭の引抜なのか、圧壊なのか。

(回答) 液状化のハザードマップは、ハザードマップを作成した根拠にもよりますが、ある程度有効だと思います。それよりも微地形区分や、造成履歴の方が、有効だと個人的には思っています。

質問③ 現地調査は今後地中の杭の抜き出しなどするのでしょうか。

質問④ 現状、液状化の検討は 20m 迄かと思いますが、それ以深は検討不要でしょうか？  
P27 の近隣データではあやしいと思われませんが・・・

質問⑤ 杭の浮き上がりが建物に及ぼす影響は、これまで検討対象になっていますか？  
また、どのように検討するのが適切なのでしょうか？

回答は講演内容（現地調査の内容）について答えられる範囲内となりますので、質問③～⑤の回答につきましてはお答えすることが出来ない旨、ご了承ください。